

北海道国際理解教育研究協議会 会報

第18号

会長 磯貝 登
事務局長 大泉 弘
発行 1991
6・25

平成3年度のはじめにあたって

会長 磯貝 登

昨年の暮れに、日本人として初めて宇宙飛行したTBSの秋山豊特派員は「宇宙」から見る地球には、どこにも線がひかれていない。ほくのこどもや孫の時代には、国境はなくなっているのかなと、しみじみ思います。」と話していたといひます。このことは、私たちが考えている国際理解教育の究極のねらいでもあります。現実には国と国との利益の衝突など多くの問題を抱えていて、この理想に到達することは容易ではありません。

会員の皆様もご承知のように、平成2年度は世界中が激動した年でありました。中東の湾岸危機・湾岸戦争では、わが国の貢献策をめぐって国内を揺るがしました。経済大国である日本は、今、いやおうなく、国際社会への新たな対応が求められています。このように期待されている日本や日本人の言動は、諸外国の人々が納得し受け入れられるものになっているのでしょうか。ビルや絵画の買い占め、一部旅行者の目に余る行動等を例にあげるまでもなく、日本人の美德のひとつとされていた自己抑制・礼儀正しさはどこへいってしまったかと思うこのごろです。お金で、すべてが解決できるという考えが強くなってきているとすれば、おおいに反省しなければならないと思います。

過日、NHKスペシャル「いま地球の子どもは。救え、世界の幼き命」の番組に出演した海外青年協力隊員のひとりが「お金や物も大切ですが、それよりも、日本人ひとりひとりが個人としボランティア精神に裏うちされた行動をおこしてほしい。」と強調していましたが同感であります。本会においては、これからの国際理解社会に対応できる人づくりをめざして活動を展開していますが、私たちは常に、国際理解教育とは、何かについて自問自答し、確認しながら推進していきたいと存じます。そのベースとなるグローバリズムとナショナリズムとの調和

をどのように図っていくかは国際理解教育の基本的な課題であります。

外国人労働者の受け入れ、難民の救済、市場開放なども、この課題にかかわる具体的問題であります。

日本を開かれた国にしていかなければ、これからの国際社会では通用しない時代であります。過去における諸外国との関係を考えれば孤立するマイナスより開かれた国としてのプラス面を、おおいにのばしていきたいものです。

そのためには、私たちの日常の教育現場において、相互に理解し、相互に恩恵をわかちあい、相互に異文化を取り入れるという三つの視点にそった具体的活動を展開する事が必要です。

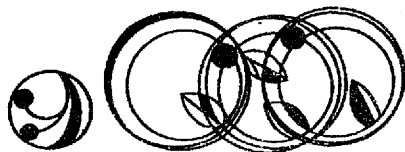
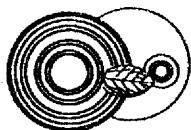
過日、本会の理事会・役員会においてもこれらのことを確認し、本年度の活動計画を樹立しました。本年度は、特に、研修部が中心となり、研修事業を構造化するための基底理念を構築し、年次計画に基づいて研究大会等を開催していくことを考えております。年を追うごとに各支部の研究会も充実してきており、たいへん心強く思っております。上記の資料を参考にいただければ幸甚です。

また、道立教育研究所の資料コーナーも今年度から教育経営部に国際理解教育研究室か新設されたのを機会に、ますます充実させていきたいと考えますので、会員の皆様からの積極的な資料提供をお願いします。

さらに、本会の裾野を広げるために、広く国際理解教育の推進に関心を持っております方々と結束していきいと思えます。そのひとつとして、北海道海外教育事情研究会との相互連携を図って参ります。

以上のことを踏まえて、今年度の本会の活動や各地域での実践を交流する場となります全道国際理解教育研究大会十勝大会を開催していきたいと思えますので多くの方が参加していただきたいと存じます。

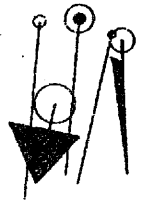
終りになりましたが、会員の皆様のご健勝をお祈りしますとともに、今年度のご活躍を期待しまして、年度はじめの挨拶といたします。



1991年度 役員一覽

事務局 ☎050 室蘭市高砂町1丁目29番1号 高砂小学校内
 ☎0143-44-3942
 ☎061-12 札幌郡広島町島松284 広島西部小学校内
 ☎011-376-2104

顧問	気境 公男	北海学園監事
	本田 哲也	元クウェート日本人学校長
	木皿 弘勝	元モスクワ日本人学校長
	千葉 福男	元ジャカルタ日本人学校長
会長	磯貝 登	岩見沢市立緑中学校長
副会長	石田 省子	札幌市立北野平小学校長
	山田 富雄	江差町立江差小学校長
	太田 哲雄	新得町立新得小学校長
	藤川 正吾	恵庭市立恵み野中学校長
	高畑 秀興	富良野市立麓郷中学校長
事務局長	大泉 弘	室蘭市立高砂小学校長
事務局次長	板垣 修	広島町立西部小学校
会計	細川 道子	江別市立江別小学校
事業部長	遠藤 優	千歳市立北斗中学校
副部長	後藤 宏	札幌市立二条小学校
広報部長	桜田 和雄	江別市立大麻小学校
副部長	小野 泰裕	札幌市立山鼻中学校
研修部長	藤原 勲夫	札幌市立北野平小学校
副部長	桑谷 昌芳	帯広市立帯広小学校教頭
監事	田畑 雅皓	釧路市立武佐小学校教頭
	浅沼 洋	小平町立小平小学校長
理事	道央 石塚 喜法	夕張市立夕張中学校長
	道北 南 信義	教育大学附属旭川中学校
	道東 豊嶋 隆範	網走市立網走小学校長
	道南 田口 公紀	七飯町立大沼中学校
	札幌 福田 潤三	札幌市立新琴似中学校長



札幌支部

会 長	石田 省子	札幌市立北野平小学校長
副会長	福田 潤三	札幌市立新琴似中学校長
	中村 勝二	札幌市立厚別中学校教頭
	一関 庶路	札幌市立北野台小学校
事務局長	藤原 勲夫	札幌市立北野平小学校
研究部長	高橋 承造	札幌市立平岸高台小学校
広報部長	小野 泰裕	札幌市立山鼻中学校
庶務会計	後藤 宏	札幌市立二条小学校

石狩支部

会 長	藤川 正吾	恵庭市立恵み野中学校長
副会長	大塚 広二	江別市立大麻東小学校教頭
	菖蒲田正満	千歳市立北斗中学校教頭
事務局長	遠藤 優	千歳市立北斗中学校

空知支部

会 長	石塚 喜法	夕張市立夕張中学校長
副会長	東岡 正宏	月形町立札比内中学校教頭
事務局長	大津外志男	岩見沢市立緑中学校

渡島支部

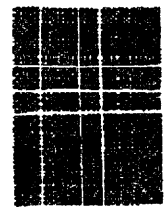
会 長	渡辺 康孝	知内町立涌元小学校長
副会長	袴田 豊	福島町立千軒小中学校長
	森山 悦雄	戸井町立潮光中学校長
事務局長	田口 公紀	七飯町立大沼中学校

桧山支部

会 長	山田 富雄	江差町立江差小学校長
副会長	大島 安長	江差町立水掘中学校長
事務局長	森田 勉	江差町立江差中学校教頭

胆振支部

会 長	畑中 満	苫小牧市立豊川小学校長
事務局長	大野 重行	登別市立温泉中学校教頭



十勝支部

会 長 太田 哲雄
 副会長 藤崎 博
 寺本 吉明
 堂畑 尚一
 事務局長 山上 貞次郎

新得町立新得小学校長
 幕別町立相川小学校長
 中札内町立中札内中学校長
 広尾町立広尾中学校長
 清水町立熊牛小学校長

上川支部

会 長 高畑 秀興
 副会長 五十嵐一之
 小川 雅美
 事務局長 南 信義

富良野市立麓郷中学校長
 旭川市立千代が丘中学校教頭
 旭川市立東陽中学校
 教育大学附属旭川中学校

網走支部

会 長 豊嶋 隆範
 副会長 福田 安邦
 米沢 淳
 事務局長 江戸 良光

網走市立網走小学校長
 北見市立高栄小学校長
 紋別市立沼の上小中学校長
 清里町立清里中学校教頭

釧路支部

会 長 藤原 文夫
 副会長 宮城島 昇
 大谷 光夫
 田畑 雅皓
 事務局長 樋原 永幸

釧路市立北中学校長
 釧路町立昆布森中学校長
 釧路市立東中学校長
 釧路市立武佐小学校教頭
 釧路市立武佐小学校

留萌支部

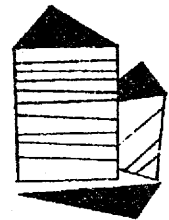
会 長 浅沼 洋
 副会長 横山 充
 高橋保司郎
 事務局長 井手 止

小平町立小平小学校長
 天塩町立川口小学校長
 遠別町立遠別中学校長
 小平町立鬼鹿中学校教頭

後志支部

代 表 日下部洋市

小樽市立量徳中学校長



日高支部

代表 中沢 儀則 静内町立桜丘小学校長

宗谷支部

代表 庄司 昭志登 浜頓別町立下頓別小学校長

根室支部

代表 川嶋 武 根室市立昆布盛小学校長



理事会・総会

北海道国際理解教育研究協議会
平成3年3月11日(月)10時
於・札幌市 ホテルアカシア

1. 会長挨拶

2. 議事

1. 経過報告

- 4月 平成2年度役員を選定
- 5月14日 道教委へ新役員挨拶 及び役員会
- 6月15日 会報14号発行
- 7月 網走大会の 後援、協賛の体制づくり
- 8月9日～10日 第17回全国海外子女教育研究大会
磯貝会長、副会長の任にて参加
「21世紀をつくる国際性豊かな日本人の育成をめざして」
- 9月3日 会長、事務局長、道教委へ全道大会助成の挨拶
- 9月26日 胆振教育局教育実践指定校研究会
「心豊かな生徒の育成をめざす国際理解教育」
白老町立虎杖中学校
- 10月 全道大会 広告協賛の取り組み
- 10月18日 十勝管内国際理解教育研究大会
「学校・地域における国際理解教育をどうすすめるか」
清水町立御影小学校
- 10月20日 会報15号の発行
- 10月25日 第6回札幌国際理解教育研究大会
「国際性豊かな子どもをめざす、姉妹校交流の進め方」
札幌市立豊園小学校

- 11月2～3日 第11回北海道国際理解教育研究大会網走大会
「世界に目をひらく児童・生徒の育成」
学校と地域における国際理解教育をどうすすめるか
網走市立網走小学校 網走セントラルホテル
- 11月19日 会長、事務局長、道教委へ全道大会のお礼挨拶
- 11月20日 第7回渡島国際理解教育研究大会
「国際理解教育ののぞましいあり方を求めて」
涌元小学校
- 11月27日 第8回釧路国際理解教育研究大会
「学校教育において国際理解教育をどう進めていくか」
国際理解教育の実践と問題点
鳥取西小学校

- 12月10日 会報16号の発行
- 1月28日 道教委と帰国教師報告会、新派遣帰国教師研修会の調整、
打ち合わせ
- 2月10日 会報17号の発行
- 2月21日 第1回石狩国際理解教育研究会
「身近な国際理解教育」
広島町立西部小学校
- 3月2日 役員会
- 3月11日 平成3年度在外教育施設派遣教員研修会
平成2年3月帰国在外教育施設派遣教員報告会
理事会・総会
平成3年度在外教育施設派遣教員激励会

2. 事業報告

1. 事務局

①記念誌の発行 「十年の歩み」

当初の予定と編集内容の変更（予算との関係でページ数の制約）

第1部 会の草創

第2部 北海道海外子女教育教師の会の活動

第3部 北海道国際理解教育研究協議会の活動

第4部 派遣教師年次一覧、歴代役員一覧

配布は次年度になる予定

②名簿の訂正と追記→次年度にむけて、理事会・総会にて配布

③広告協賛の取り組み 札幌支部の力添えで実施 全道大会に9万円



2. 広報部

会報の発行 6月15日 会報14号 10月20日 会報15号
12月10日 会報16号 2月10日 会報17号
海外会員への送付。

3. 事業部

激励会の実施 70名あまりの参加の予定。
資料コーナー

4. 研修部

全道大会の研究基調について打ち合わせ。

5. 平成2年度会計決算報告 別紙にて報告



1991年度 事業計画

1. 第12回北海道国際理解教育研究大会の開催について

開催地 事務局が開催地事務局と連絡
期 日 事務局が開催地事務局と連絡
場 所 事務局が開催地事務局と連絡
内 容 研修部の基調報告と内容の交流
予 算 本部会計から20万円。
その他

2. 会報の発行

広報部 (年4回、6月、10月、12月、2月くらいをめぐり)
18号. 総会、決算、事業、予算、新役員等
19号. 全道大会概要、帰国者報告、支部情報等
20号. 全道大会報告、支部交流
21号. 海外からの通信、実践者等の通信、支部交流、激励会案内
海外会員への会報送付
道教委の派遣者への資料送付にあわせたりして、道からの派遣教員にも便りをとどけられる道を工夫していきたい。

3. 平成3年度帰国者への案内を早期に実施する。

事務局より会報18号発行時に本会の案内、入会勧誘、帰国報告会についての案内を進める。事務局と研修部で推進する。

4. 研究の推進と交流

各支部の研究テーマの収集と還流 (事務局)
全道大会における基調報告 (研修部)

5. 帰国報告収録集の作成をめざす。(研修部) 帰国報告会に配布できるようにしたい。

6. 会員名簿作成 (6月くらいまでに)
修正と追補 (事務局)

7. 新派遣教員激励会 (新派遣者研修会当日)
会の運営 (事業部)
会の案内や参加者のとりまとめ (事務局と事業部)

8. 新派遣者研修会及び、帰国者報告会への講師派遣 (3月上旬)
講師等の人選、推薦 (事務局)
会の日程、運営 (事務局、事業部、研修部)

9. 道教委への要望

- ①海外派遣者に対する会報の送付を道教委の資料配布時に送付して頂く
要望
- ②帰国報告会での資料としても使える、帰国報告レポートの収集についての一任をいただく
- ③北海道の国際理解教育に熱意ある実践者が派遣されるように要望するとともに、北海道国際理解教育に熱意ある帰国教師からも再派遣の門戸を開いてもらうように要望したい。(本会の振興のためにも)

10. その他、役員及び理事からの議題について

11. 平成3年度役員選出について



事務局会議

5月30日(木) 北海道教育委員会への役員挨拶の後、事務局会議が開かれ、今年度の事業計画の確認がなされました。前掲にない部分についてのみお知らせします。

*今春、帰国された帰国教員への入会の働きかけ

*『どさんこ先生海外奮戦記』第三集の編集の動き。どのくらい執筆していただけるか、執筆希望者の実態を把握したいので希望者は事務局まで連絡を。

平成2年度 会計決算書

(平成2年4月1日～至 2年3月31日)

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	158,528	158,528	0	
会費	450,000	452,900	2,900	
入会費	210,000	182,000	28,000	平成19年度着2人 平成20年度着5人
雑収入	0	220	220	利息
合計	818,528	793,648	24,880	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
事務費	30,000	25,700	4,300	職員録用紙代
会報費	70,000	17,624	52,376	
事業費	200,000	200,000	0	
会議費	150,000	84,420	65,580	理事会総会旅費
通信費	50,000	47,205	2,795	郵券 19ヶ月 電話
助成費	200,000	200,000	0	網走大会助成
印刷費	50,000	24,608	25,392	30-E 電話代 事務用品補助
雑費	20,000	10,300	9,700	北海道通信着
予備費	48,528	0	48,528	
合計	818,528	609,857	208,671	

3. 差し引き残高 (収入決算額) (支出決算額) (差し引き残高)

$$793,648 - 609,857 = 183,791$$

平成3年度 会計予算案

(自平成3年4月1日 至平成4年3月1日)

I. 収入の部

項目	2年度決算額	3年度予算額	増減	備 考
繰越金	158,528	183,791	25,263	
会費	452,900	480,000	27,100	160名の会費で算出
入会金	182,000	210,000	28,000	30名の入会を想定
雑収入	220	0	220	
合計	793,648	873,791	80,143	

II. 支出の部

項目	2年度決算額	3年度予算額	備 考
事務費	25,700	40,000	封筒
会報費	17,624	80,000	通信費の一部が会報費に組込む
事業費	200,000	200,000	将来の事業に対応。ブロック交流会開催費
会費	84,420	150,000	理事会費
通信費	47,205	70,000	事務局からの各種通信
助成費	200,000	200,000	北海道大会(帯広大会)
新聞費	24,608	70,000	打合せ
雑費	10,300	20,000	広告
予備費	0	43,791	
合計	609,857	873,791	

〈平成2年度決算及び3年度予算案について〉

1. 決算は、3月2日までとし、3月3日以降の会計執行は暫定とし、平成3年度予算が確定後繰り込みます。
2. 事業費の各ブロック交流会、北海道土教養研究所資料コーナーへの支出は、今後の課題とします。
3. 新年度の円滑な業務推進のため、年度初の会費の納入が必ずです。
4. 平成3年度の予算案は、平成元年度及び2年度の帰国者の入会、また160名会費納入を基礎に算出しました。

第12回北海道国際理解教育研究大会

大会主題

“世界に羽ばたく児童・生徒の育成”

主催…北海道国際理解教育研究協議会

主管…十勝管内海外教育事情研究会

1. 期 日 平成3年11月21日(木) 22日(金)
2. 会 場 帯広市立花園小学校
3. 協力校 帯広市立南商業高等学校
帯広市立帯広第三中学校
4. 分科会 小・中・高・一般の4分科会

*9月上旬に二次案内発送予定です。ご参加ください。



会費の納入をお願いします。

- ・振替用紙を同封しております。今回の手当で納入をお願いします。年額3000円
- ・退会希望される方はその旨事務局まで必ずご連絡ください。会報の送付等々を停止いたします。

海外の会員



・元気でご活躍の様子が、以下の会員から寄せられております。今回は紙面の関係から掲載できませんでしたが、次号以降で順次掲載して参ります。

- | | |
|------------|---------|
| ・オランダ日本人学校 | 畑野 功 先生 |
| ・カラチ日本人学校 | 茨目 幸良先生 |
| ・キナバル日本人学校 | 加賀 政治先生 |
| ・ヤンゴン日本人学校 | 細川 清茂先生 |

ありがとうございました。

会報をお届けいたします。

今年度は 平岸高台小学校の高橋承造先生が退任され、後任に小野泰裕先生が広報 担当になりました。大麻小学校の桜田とコンビを組んで参ります。

18号、19号は桜田 20号、21号は小野先生が担当いたします。